



ウィナイ ピンパーと申します。タイ北部ランブーン
において、以前はオイスカのランブーンセンターで職員と
して働いておりました。現在は43歳、一人娘がいま
す。

今の仕事は、地元で公務員として働いています。専門
家としてタキアンポム地区での教育、宗教、文化部門を
担当しています。具体的には2歳からの子どもを受け入
れる児童教育センターの支援、青少年向けのスポーツ大会の実施、対象地区の学校教育開発
や促進、その他地域に役立つ様々な教育的分野の技術の導入や研究を行っています。タイ正
月のソクラーン（水掛け祭り）、ロイグラトング（灯籠流し）、象祭り、男子が一定期間
僧侶になって修行するための支援、その他のお寺でのお祭り、宗教や文化に関するイベント
の開催や地域の観光の促進など、企画から開催までのすべての過程に携わっています。そし
て自分の担当する部門について他機関や関心のある一般住民への研修や助言なども行って
います。以前オイスカ・タイで仕事をしていた経験を活かし、国や地域の特別な日には地域住
民を巻き込み、植林活動を行うようにしています。

私は2004年に訪日し、オイスカ中部日本研修センターで一般農業研修の研修生として農
業を学びました。ここでは農業技術や日本語はもちろんのこと、それ以上に私の人生の肥や
しとなる多くの事を学びました。規律を守ること、生活環境ををきれいにすること、集団で
生活していますので一人ではできないことも皆で協力するとできるということ、一緒に仕事
するときのチームワークの大切さ、お互いを助け合うことなど、その後の人生のための勉強
になりました。新しい環境に適應する力、新しいことを吸収する力、これらが前へと進むた
めに必要な力だとオイスカ中部日本研修センターの研修を通じて気付きました。

また、タイでは経験したことのない恐怖体験も経験しました。地震の揺れにドキドキし、
台風の強い風で眠れない夜もありました。また、暖かい思い出もあります。センターでは違
う国、違う宗教や文化の友達と出会い、センターの外でも温かい家族のところでもホームステ
イさせていただき、楽しい毎日でした。先生方の笑顔、一生懸命に教えてくださった姿、建
物の後ろにある桜が一斉に咲いている風景、今でも思い出しています。台所の美味しい食
事、人生初のリンゴを収穫した体験、そして日本では8月があんなに暑い季節だとは思っ
てもみませんでした。

過去があるから、今の自分がある。日本での思い出や経験は私の一生の宝物です。心から
お礼を申し上げます。ありがとうございました。

そしてこの度、オイスカ中部日本研修センターが創立から50周年を迎えると聞きました。
様々な活動を行い、多くの人たちにチャンスを与え、たくさんの方が育っていきまし
た。日本に限らず外の世界の人たちや地域にも貢献されてきました。私はオイスカ中部日本
研修センターを日本の研修センターではなく、世界のセンターだと思っています。微力では
ありませんが、これからも自分のできることをオイスカと共に協力させていただきたいと考
えています。オイスカ中部日本研修センターのますますのご活躍とご繁栄を、皆様のご健康と
お幸せをお祈り申し上げます。

オイスカ中部日本研修センター設立50周年、おめでとうございます。